街角にぎわう秋の宵

まいや宵市に笑顔が集う

「まいや宵市」（まちづくりmaiya no mirai主催）が10月11日、不老仙館駐車場を会場に開かれ、多くの人が集まりました。

イベントは、米谷地域の活性化を目的に、今回が初めての開催。キッチンカーや出店など、14の飲食ブースのほか、子ども向けの制作体験やパフォーマンスのコーナーも設けられ、来場者は思い思いに秋の夕べを楽しみました。相澤米子（よねこ）さん＝東和町米谷５区＝は「いろいろなおいしいものを味わえましたし、特に若い人たちがたくさん集まってにぎわっていたので、とても楽しかったです」と、時間を忘れて満喫していました。



夕暮れの心地よい秋空の下、来場者はマリンバ演奏などのパフォーマンスを楽しみながら、出店のグルメに舌鼓を打ちました。

技と食の魅力を体感

産業フェスティバル開催

「第19回登米市産業フェスティバル」が10月４日、オサベフーズ迫体育館とエスファクトリー東北中江公園で開かれ、約１万９千人が来場しました。

市内の企業など86団体が出展し、体育館内では金属製品や食品加工などの紹介と体験コーナーが、屋外では市内の特産品やはっと汁、油麩丼、牛串、スイーツなどが販売され、訪れた人は体験や食を楽しみながら、登米の産業の魅力に触れました。小野寺理桜（りお）さん（11）＝中田町小島＝は「最初にスタンプラリーを全部回って完成させました。いろいろ体験したけど、フラワードーム作りがとても楽しかったです」と話していました。



家族で麺作りを体験する来場者。手作りした麺を家で食べるのを楽しみに、うれしそうに持ち帰りました。

元気と笑顔はじける

ニュースポーツで汗流す

「元気とめ‼スポーツ大会」が10月12日、オサベフーズ迫体育館で開かれ、243人が参加し、家族や仲間たちと心地よい汗を流しました。

大会は、スポーツやレクリエーションを通じて、健康で豊かな生活を送ることができるようにと開催。参加者は、市スポーツ推進委員のアドバイスを聞きながら、スポーツチャンバラやモルック、ボッチャなどのニュースポーツを体験しました。モルックを体験した伊東扶昭（ふあき）さん（５）＝中田町仲町＝は「計算が難しかったけど、いっぱいピンを倒して50点ぴったりにできたのでうれしかったです」と目を輝かせていました。



モルックは、数字が書かれたピンを倒して50点ちょうどを目指す競技。参加者は、作戦を考えながらピンを狙っていました。

声に出し名作味わう

シニアのための音読教室

「シニアのための音読教室」が10月７、14の２日間、登米公民館で開かれ、21人が参加しました。

教室では、前登米市教育委員の須藤勝子（かつこ）さんを講師に迎え、登米図書館の本の中から作品を選び、声に出して読む楽しさを体験。１日目は詩や昔話、２日目は古典などの本を参加者全員で息を合わせて音読し、普段とは違う読書を満喫しました。飯塚敬子（けいこ）さん＝東和町米谷１区＝は「頭の体操に良さそうだと思って参加しました。1人暮らしなので、１日誰とも話さない日もあります。今日はみんなで声を出して文章を読み、とっても楽しかったです」と笑顔を見せていました。



楽しい作品は元気に、悲しい物語は静かに。参加者みんなで声のトーンを合わせて、感情豊かに物語の世界を味わいました。

共創のまちづくりへ

キックオフイベント開催

「（仮称）地域交流センター整備に向けた市民参画キックオフイベント」が10月12日、迫公民館で開かれ、49人が参加しました。

キックオフイベントでは、東北工業大学准教授の勝邦義（くによし）さんと紫波町図書館主任司書の吉田めぐみさんをゲストに迎え、施設の役割などをテーマにトークセッションを実施。参加者は、登米市の将来像を思い浮かべながら耳を傾けていました。佐藤りなさん＝迫町鉄砲丁＝は「人と人との交流から、登米市ならではの働き方や食文化が生まれて、まちに若い人が増えるような施設になってほしいです」と期待を寄せました。



トークセッション後に開催されたミニワークショップでは、どんな施設になってほしいかについて意見交換しました。

芸術文化一堂に会す

みやぎ県民文化祭in登米

「第29回みやぎ県民文化祭」が10月10、11の両日、水の里ホール・Abebisouで開かれ、２日間で延べ1120人が訪れ、芸術の秋を堪能しました。

文化祭は、県内各地域の文化芸術活動の発表や展示と、出演者や出品者同士の交流の場として、毎年県内の各地区を回りながら開催。一条恵子（けいこ）さん＝米山町的場＝は「『登米ワークショップ逸品展実行委員会』として仲間と一緒に作品を出品しました。ほかの地域から出品した人と直接お話ししたり、県内の文化芸術団体のステージを見たりと、とても刺激になりました」と声を弾ませていました。



「伝統文化南方こども舞踊教室」の華やかな舞で幕を開けた文化祭。来場者は、多彩な発表や展示の数々を楽しみました。